

薬学導入プログラム

『第一薬科大学附属ハッチェリー調剤薬局』薬局見学レポート

2011年7月20日、福岡県の第一薬科大学附属高校の高校1～3年生19名に対して、第一薬科大学附属ハッチェリー調剤薬局見学を開催いたしました。参加して下さった薬剤師を志す高校生の皆さんは、とても熱心に施設設備を見学し、さらに薬剤師の仕事内容を真剣に学んでいました。そこで、薬局見学の際の雰囲気が伝わるように、写真交えて、ダイジェストで薬局見学の様子をご紹介します。

- 薬局見学担当教員：ハッチェリー調剤薬局薬局長 前田先生、
ハッチェリー調剤薬局管理薬剤師 古賀先生

はじめに、前田先生から、病院、調剤薬局の薬剤師の仕事内容を詳細に説明に説明して頂きました。





薬局見学

大型調剤薬局の施設・設備と、そこで働く薬剤師の仕事を見学します。

- ① 処方箋の受け取りから、患者さんにお薬をお渡しするまでの仕事の流れを学びます。



② 無菌室を見学し、無菌操作や様々な無菌製剤を学びます。





- ③ 調剤室を見学し、処方箋の読み方や、錠剤、散剤、水剤、外用剤などの調剤の仕方や、患者さんへの服薬指導説明などを学びました。





- ④ 薬剤師の仕事内容に関わる疑問『薬剤師の仕事でやりがいを感じることや難しさを覚えること、薬剤師になるために今のうちにしておくと良いこと』などを、現場の薬剤師が答えました。



薬局見学を終えて、参加して下さった高校1～3年生の皆様には、専門家としての責任と仕事に対する緊張感を学ぶとともに、薬剤師に対する関心が高まり、薬学に対する興味をより一層深めて頂けたと思います。本学では、理科が好きという生徒さんに対して、薬学を身近に感じてもらうための薬学導入プログラムとして、薬局見学のみならず、『医薬品を合成してみよう』出前実習も企画しております。開催日程、時間等など詳細は、ご相談の上、決定してまいります。

先生方には、薬学部進学を志す3年生の進路指導教育の一助として、また、1・2年生に対しては、今後の進路研究の参考および総合学習の一環として、本学の薬学導入プログラム（出前実習、薬局見学）を、お気軽にご利用頂ければ幸いです。

まずは、本学アドミッションオフィスまでお気軽にご相談ください。教員スタッフ一同、心よりお待ちしております。